

令和7年度第1回 京都府独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
近畿職業能力開発大学校京都校部会 開催概要

1 開催日時

令和7年7月1日(火) 10:30～12:00

2 開催場所

京都職業能力開発短期大学校2号館2階会議室（舞鶴市上安1922）

3 主な議題

- (1) 令和6年度の事業実施状況について
- (2) 令和7年度の事業計画について



4 議事経過

資料に沿って、事務局から説明が行われた後、意見交換が行われました。各委員からの主な意見は以下の通りです。

- 現状における一番の課題は応募倍率である。高校生の4年制大学への進学希望が一層強くなっているが、京都校の魅力は就職率100%であるため、高校訪問で就職率100%である事をアピールすることについて継続していただきたい。
- 京都北部地域の高校を訪問すると、高校3年生の進路希望は4年制大学が多く、就職希望者の地元希望は少数である。地元企業に就職していただくために、インセンティブをつけることが重要であると考えます。
- 企業の研修ニーズは高いことから、京都校の在職者訓練の目標値達成に繋がっていることが考えられる。企業としては、京都校の修了生の採用を希望している。応募倍率の向上は非常に難しいが、そのようなところにヒントがあるのではないか。
当社は、事業主推薦入試制度を数年前から導入しており、各高校に同制度をPRしている。事業主推薦入試制度は他大学にはない、京都校の新しい形、新しいあり方ではないかと思う。
- 保護者の方へのPRは重要である。高校生にとって、保護者の方からの助言は大事であり、保護者の方が閲覧する媒体等のPRは重要であるため、引き続き取り組んでいただくようお願いしたい。

以上